

高齢者投票支援	3
新型コロナワクチン	4
結婚新生活支援	6
フォトコンテスト入賞作品	14
暮らしの情報	19

## 甘くて美味しい こだますいか初出荷

JA北つくばのこだますいか部会会員の飯泉光一さん（猫島）は父の代からこだますいかの栽培を始め、2代目となります。ビニールハウス28棟を所有する光一さんは、妻みよ子さんと二人三脚で、40年間すいかを作り続けています。



こだますいかは、まだ寒い時期に苗を植えます。温度管理が難しく、寒いときはビニールを3重・4重にして苗にかぶせるなど苦勞の耐えない作業です。



すいかの実をつけるために必要な授粉作業を行います。その日に咲いた雄花を選び、開花したばかりの雌花に、ひとつひとつ人工授粉させます。



今年は例年より早い出荷が始まりました。1月、2月は天候に恵まれ、寒暖差があったことから成長が早く、甘いすいかが出来あがりしました。



糖度が高く、薄皮で皮の隣まで甘みがあるのが特徴です。出荷のピークは、5月ごろになります。

